

NEXT 京田辺

住民が起点の施策と予算執行を

・子育て支援への配分は、安全への適正予算が、介護予防の取り組みを基本に審査に臨んだ。子育て関連予算は約5億円増。中央体育館の空調設置、通学路の安全対策や防犯カメラの設置拡大等踏み込んだ予算であり、本予算願う。

編成を評価する。一方介護予防のフレイル対応や学校体育館の空調設置。トイレの改修等早期課題との意見を付した。今後も住民が起点の施策推進や安全安心を最優先に、継続した取り組みを期待する。合わせて将来の厳しい財政を鑑み、企業誘致の強化と、公営企業会計にふさわしい上下水道料金の検討を進められたい。以上の意見を付して本予算案を是として、早期執行を願う。

予算特別委員会 総括審査

審査を終えての会派別意見

自民一新会

予算執行はスピード感を持って

上村市長のもと、新たにスタートする第4次総合計画まちづくりプランの推進に向け積極的な予算措置は評価する。財政状況が厳しい中であって、豪雨のみならず集団感染など複雑かつ甚大化する災害の脅威に對しては、市民の安全・安心を最優先に迅速な予算執行を願う。他方で喫緊の課題である中学校給食早期実現など多くのプロジェクト推進には、市長の強いリーダーシップで積極的な行財政運営を。先人が築いてきた成長都市京田辺を後世に伝え引き継ぐためには、北陸新幹線新駅設置を始め本市の将来を大きく左右する要素で、国や府、近隣市町村との連携が重要。

京都南風の会・日本維新の会クラブ

各最先端分野へ戦略的投資実施

総合的には各種事業において適切な予算計上がなされていると判断及び評価する。GIGAスクール構想だけでなく、市の業務も各種トラブル等に対応済の最新のICT環境の整備維持に適切な予算配分を継続中。

それらを扱う機材・人材両面で、継続的な高度情報通信社会に対応できる環境整備に努めていると判断する。また、厳しい予算の中、未来の子どもたちのための教育への投資、各関連業務にAI等の技術導入をするなど、予算計上を図っており、今後の京田辺市が目指すべきビジョンを体現化したものであると感じさせる。

日本共産党 京田辺市議会議員団

市民生活支える最大限の対策を

市民の暮らしや景気、経済状況について市長は、政府同様「緩やかな上向き基調にある」消費税については「今回の増税分は社会保障へ十分手当されている」と答弁。しかし、令和元年10～12月のGDPは大幅なマイナス

成長となり、今後も緊迫する経済状況の中で市長の認識と予算は暮らし・営業を守る姿勢が極めて不十分で緊迫感にかけるものである。市独自でも市民生活を支えるために最大限努力すべきであり、国保税の引き上げ計画や下水道料金の引き上げ計画の中止、介護保険では4億円以上の基金活用で負担軽減を図る事、正規職員を中心とした職員体制へ転換する事などを提案。

公明党

災害備蓄計画の見直しをすべき

本予算には、公明党が要望してきた南部民間保育所等・放課後児童クラブ施設整備補助事業、ロタウイルスワクチン予防接種事業、防犯機能付き電話等購入補助事業などの新規事業が盛り込まれている(こと)を高く評価する。えるべきである。

しかし、中学校給食基本計画策定事業や田辺中央北地区新市街地整備促進事業など、市民に進捗状況が見えにくい事業もあるので早期に進めアピールすべき。市民の安心安全のためカメラ付き自販機を含めた防犯カメラの拡充、マスク・消毒液など災害備蓄の見直しを。自治会への加入促進策の充実、市民が利用しやすい相談窓口確立、職員研修の充実なども考えるべきである。

総務常任委員会

選挙投票率の向上について

- 選挙の重要性など、有権者の意識改革を促す取り組みを進められたい
- 出前授業等、主権者教育の地道な取り組みを継続されたい
- 期日前投票所の増設や投票所の在り方など現行枠に固執することなく、有権者の声を反映する取り組みを進められたい
- 今後、田辺中央北側で建設予定の複合施設などにおいては、期日前及び当日の投票所となるよう設計検討されたい

常任委員会の所管事務調査報告

市議会ホームページで提出された報告書を閲覧できます。

性の多様性に対応した社会について

- 性的少数者の当事者と懇談会を実施
- 同性パートナーシップ制度についての管外視察研修(東京都中野区)

文教福祉常任委員会

スポーツ環境の整備について

- 子どもから高齢者まで、普段から体を動かすことができる運動環境の整備が必要
- 各種運動教室の利用料を安価にし、参加しやすくする
- 健幸パスポート事業のPDCAサイクルを実施するとともに、市の重要施策の大きな柱として、全庁的な取り組みを推進することが望まれる
- 既存社会体育施設利用者から、さらに踏み込んだ意見のくみ上げによるサービスの向上が必要